

# 白鷹町文化交流センター

## 施設概要

事業主体：白鷹町

施設名称：白鷹町文化交流センター

所在地：西置賜郡白鷹町大字鮎貝仮換地 24 街区 1 番外

用途：集会場・美術館



《外観写真》屋外交流広場から眺め

## ●施設の特徴、内容

白鷹町文化交流センターは、多目的交流ゾーン・ギャラリーゾーン・文化伝承発信ゾーン・屋外交流広場の施設が一体となり、四つの機能が織り成すことによる、新たな交流・文化・人づくりを生み出す施設としている。

ギャラリーゾーン・文化伝承発信ゾーン・多目的交流ゾーンの3つゾーンは、建物の平面、形状及び構造性状も異なることから、各ゾーン毎にエキスパンションジョイントを設けて区分し、構造的に独立したものとなっている。

また、災害時の一時避難施設としての機能を有していることから、耐震・耐風・耐久性そして安全性を十分考慮した構造となっている。

木材の使用においては、「町づくりは地産地消」の観点のもと、風景や景観に配慮し地域に溶け込んで調和のとれた空間とするため、地元産の杉材を生かした木質感ある内外観としている。

## 南立面図



### ■建物情報

階数：地上1階

構造：文化伝承発信ゾーン（木造）  
ギャラリーゾーン（木造・SRC造）  
多目的交流ゾーン（SRC造）

小屋組方式：入母屋

敷地面積：23,346 m<sup>2</sup>

延床面積：1,820 m<sup>2</sup>

棟別床面積：文化伝承発信ゾーン 700 m<sup>2</sup>  
ギャラリーゾーン 511 m<sup>2</sup>  
多目的交流ゾーン 609 m<sup>2</sup>

最高軒高：4.77m

最高高さ：13.77m

### ■主要仕上

#### 外部仕上

（屋根）：フッ素樹脂塗装  
ガルバリウム鋼板横長尺葺き t0.4mm  
（外壁）：コンクリート化粧打ち放し下地  
超耐候性水性無機質塗装仕上げ

#### 内部仕上

（床）：カルブ付き複合フローリング  
カルブ付きナラ無垢フローリング  
（壁）：石膏ボード t9.5mm～t12.5mm  
木胴縁 36×45 ラワン合板 t12mm  
（天井）：石膏ボード t9.5mm～t12.5mm  
岩綿吸音板 t9mm、直天井



《ギャラリーゾーン》



《文化伝承発信ゾーン》木造、木製建具などを採用

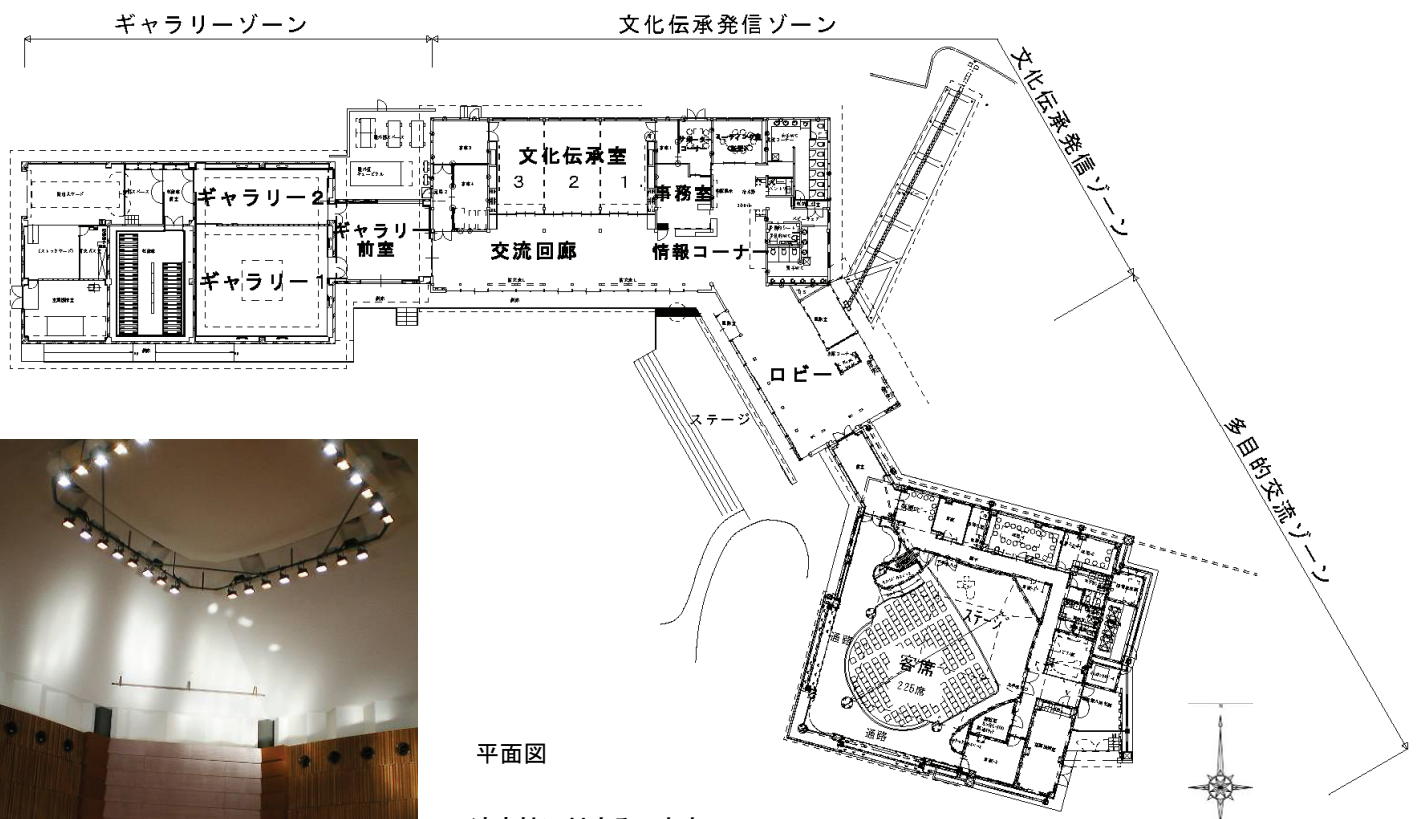
《使用木材》

杉	223.10㎡	唐松	14.30㎡
桐	0.97㎡	ひのき	0.16㎡
ヒバ	3.66㎡		
計	243.00㎡	【県産木材 237㎡】	



●配置計画について

多目的交流ホールとギャラリーは使用目的と用途上相反するものであることから、独立した空間とし、中間に文化伝承ゾーンを配し、両施設を一体的に結びつけた計画となっている。



平面図

●遮音性に対する工夫点

施設の特性上、高い遮音性能が要求される施設については、遮音構造としており防音建具の二重構造や道路が直接見えないように築山をもうけ遮音性を確保している。特に多目的ゾーンは、多様な利用形態に応じた構造としており、音響効果の優れたものとなっている。



《多目的交流ゾーン》

■事業概要

設計者：株式会社 本間利雄設計事務所  
 施工者：那須・丸ト特定建設 共同企業体  
 工期：平成19年8月～平成20年12月

設計費：40,950千円  
 建設費：639,592千円  
 1㎡あたりの建設費：351千円